

企画総務委員会

送付 20 - 6

「東松下町計画」に関する陳情

受付年月日 平成 20 年 8 月 22 日

陳 情 者 千代田区神田岩本町 4 番地 1 4

代表者 こやま 小山 りゅうたろう 隆太郎

他 1 6 2 名

陳 情 書

[陳情の趣旨]

一、旧千桜小学校跡地に「安心安全の公有空間」を確保する陳情

[陳情の理由]

平成19年10月5日、「東松下町計画」の説明会で、千桜小学校の跡地に建つ住宅の概観図が初めて示されました。

約千坪の敷地に二つの高層建物が立つとのこと。一つは区営住宅、これは前々から噂としては聞いておりました。ところが、それより遙かに規模の大きな、もう一つの建物が建つ予定です。130年に亘って地域を守ってきた、唯一の公有地が、事実上跡形もなくなる計画です。

特に神田駅東地区には、学校跡地以外に他にまとまった空間や緑地スペースもなく、千桜小学校の果たしてきた役割はとりわけ大きなものでした。地域の安心安全は、「公有の空間」があつてこそです。現に秋葉原通り魔殺人事件の際も、警察関係車が使用し、連合町会の防災訓練も行われています。

大戦中も、空襲にあつた大勢の住民が校舎に避難し、生活しました。隣接する建物を壊してまで守った文宇通りの「鎮守の杜」でありました。公有地が持っていた、住民への役割環境は次世代、次々世代へと繋げていく事が私たちの役目だと言えます。

児童数が減って、廃校は時代の流れかもしれません。しかし、区営住宅以外の部分は公開空地として是非残して頂きたい。緊急時に必要不可欠です。

区側の説明では、平成14年から検討されているとの事ですが、地域の住民は参加するどころか、経過説明すら殆どされていない(とりわけ平成16年以降は丸3年一度も住民説明がなされなかったのが)今回の計画です。

旧千桜小学校跡地計画は現在の案を見直し、校庭部分を地域住民の防災拠点広場として保持した上で、区営住宅と小規模多機能型高齢者施設にするなど、住み続けたい住民の希望に沿った計画に見直していただくよう、再度ご検討をお願いしたく陳情致します。

平成20年8月22日

千代田区議会議長 高山 はじめ 殿